

2001年5月

スカイライン

日産

V35スカイラインを前にもうガマンできなくて 見た！開けた！座った！！

どうしようもなかった。こんなにも自制心を失ったのは初めてかもしれない。でも、仕方ないんだ。だって、日産が満を持して発表する新型スカイラインが目の前に突如、現れたのだから。それを無視して通り過ぎろというほうが、ムリなハナシだと思わないか？

全幅1750mmのワイド感がたまんない!!



[↑ zoom](#)

上からロービーム、ハイビーム&フォグランプ、ターンシグナルが一体ハウジングに収まるヘッドランプユニット。ロービームは青白い光を放つキセノンタイプだ。また、シーマやプリメーラ同様、車間自動制御システムもオプション設定される。

見た！

とりあえず、ボクはシゲシゲと眺めた。LEDタイプのリアコンビランプや横線基調のワイドなラジエターグリル、そして長いホイールベースが作り出すのびやかなシルエット。新生・日産がスカイラインにかける意気込みはハンパじゃない。そんな思いがヒシヒシと伝わってきた。

まんまSKYLINEの
ネーミングで登場す
るんだ!!



[↑ zoom](#)

新CIマークとともに
光り輝く
「SKYLINE」のエン
ブレムを見逃さない
ように。トランク
リッドはヨーロッパ
車と同じく、集中ド
アロックに連動する
ため、室内オープ
ナーではなく直接車
外から開けることが
できる。なお、リア
コンビランプはLED
タイプだ。

夢にまで見たXVLのフォルムが現実のものに!!



[↑ zoom](#)

4675mm × 1750mm × 1470mm
の堂々としたボディサイズ
を誇る新型スカイライン。
前後オーバーハングの短さ
と大径タイヤが踏ん張った
印象をかもし出す。ショー
モデルXVLとの大きな違い
はサイドマーカーがバン
パー見切り線に移されたこ
とだ。



[↑ zoom](#)

大きくラウンドしたルー
フと力強さをアピールす
る太いCピラーが印象的な
リアクォータービュー。
足元を飾るのは215/55R
タイヤ + 17インチアルミホ
イールだ。

開けた!

V6搭載のウワサはホントなのだろうか? ——ふと、そんな疑問が頭の中をよぎったと同時に、何のためらいもなく、ボクはボンネットフードを開けた。すると、どうだろう。そこには「V6」の文字が光るエンジンカバーがひっそりと姿を潜めていた。直6に代わってV6が搭載されるっていうウワサはホントだったんだ!

V6フロントミッドシップはウソじゃなかった!!



[↑ zoom](#)

ずいぶん前からウワサされていた“日産直6撤退説”は、新型スタイラインへのV6エンジン搭載で現実のものとなった。搭載されるのはVQ25DD型2.5リットルとVQ30DD型3リットルの2種類で、とも直噴方式を採用。トランスミッションはATのみだ。

座った！

ボンネットのリリースレバーを引く時に見えたインパネも気になった。改めて運転席に腰を下ろすと、そこにはツートンカラーの上質感あふれるインパネが横たわっていた。もはやセド／グロ以上のデキを思わせる仕上がりには、正直言って驚いた。

全国の読者のみなさんの期待を背に、ひと足先に新型スカイラインを堪能したボクは、自信を持って太鼓判が押せると思った。いまから6月18日が待ち遠しいゾ！

ツートンカラーの Cockpit で早く操りたい!!



[↑ zoom](#)

ブラックとエクリュのツートンカラーが上質感をもたらしているインパネ。スッキリとデザインされた空調パネルやオーディオ類が質感アップに貢献している。パワーシートのスイッチがクッション上面のセンターコンソール寄りに移設されているのも目新しい。

▲ [戻る](#)











